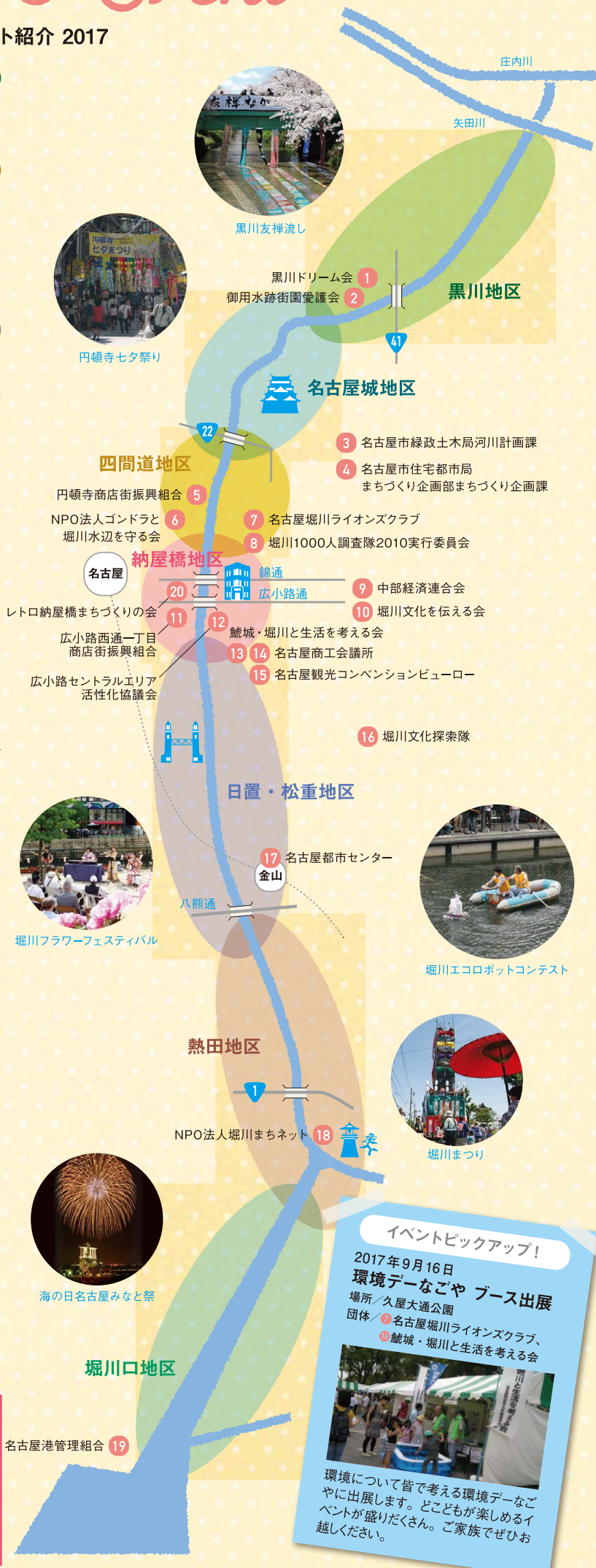


Member & Event

〈堀川まちづくりの会〉会員・イベント紹介 2017

- 黒川地区**
2017年4月1日
黒川友禅流し 場所/辻栄橋(北区)
団体/北区まちづくり推進協議会(●黒川ドリーム会等)
- 四間道地区**
2017年7月26日~30日
第62回円頓寺七夕祭り
場所/円頓寺商店街 団体/●円頓寺商店街振興組合
2017年11月11日・12日
円頓寺秋のバリ祭2017
場所/円頓寺商店街 団体/●円頓寺商店街振興組合
- その他**
2017年4月15日
クリーン堀川春の一斉大そうじ
場所/北清水観水広場(黒川地区)宮の渡し公園(熱田地区)
団体/クリーン堀川(●●●●)
2017年4月28日
春の大潮一斉調査 場所/堀川沿川
団体/●堀川1000人調査隊2010実行委員会
2017年秋頃
木曾森林管理署南木曾支所・南木曾町合同育樹祭
場所/長野県南木曾町 団体/●名古屋堀川ライオンズクラブ
2017年6月3日
環境デーなごや 堀川クルーズ
場所/白鳥~納屋橋、白鳥~名古屋港
団体/●名古屋堀川ライオンズクラブ
2017年6月4日
水フェスタ 場所/錦屋上野浄水場
団体/●堀川1000人調査隊2010実行委員会
2017年9月9日
第21回調査隊報告会 場所/名古屋都市センター
団体/●堀川1000人調査隊2010実行委員会
2017年9月16日
クリーン堀川秋の一斉大そうじ
場所/北清水観水広場(黒川地区)納屋橋周辺(納屋橋地区)
宮の渡し公園(熱田地区)
団体/クリーン堀川(●●●●)
2017年11月4日(予定)
鯉城・堀川清掃大作戦 場所/堀川・新堀川全川
団体/●鯉城・堀川と生活を考える会
2017年11月25日
木曾三川がたつ山とまち
木曾川と堀川・上下流を繋ぐ交流会
場所/名古屋市内 団体/●堀川1000人調査隊2010実行委員会
2018年2月頃
第22回調査隊報告会 場所/未定
団体/●堀川1000人調査隊2010実行委員会



- 納屋橋地区**
イベントピックアップ!
2017年10月21日・22日
堀川ウォーターマジックフェスティバル
場所/納屋橋周辺
団体/堀川ウォーターマジックフェスティバル実行委員会(●●●●●●●●等)
- 2017年5月12日~27日
堀川フラワーフェスティバル
場所/納屋橋周辺
団体/堀川フラワーフェスティバル実行委員会(●●●●●●●●●●等)
- フラワーフェスティバル内イベント**
●4月13日~17日
ハンギングバスケット作成会
団体/●名古屋市政政土木局河川計画課
●5月13日
愛知淑徳大学 Day
団体/●愛知淑徳大学コミュニティコラボレーションセンター
●5月20日
堀川水質検査デモ
団体/●鯉城・堀川と生活を考える会
●5月13日・14日・20日・21日
 Gondola体験乗船
団体/●NPO法人 Gondolaと堀川水辺を守る会
※ Gondola体験乗船は3月~11月の毎月最終土曜日にも開催しています。
- 2017年8月27日
第13回堀川エコロボットコンテスト
場所/納屋橋
団体/●名古屋堀川ライオンズクラブ、●名古屋工業大学
2017年10月28日
第42回堀川文化講座~名古屋をつくった鈴木楨次~
場所/中区役所6F大会議室 団体/●堀川文化を伝える会
2017年11月23日
第22回堀川文化歩こう会
場所/大須観音~西別院 団体/●堀川文化を伝える会
2017年11月21日~12月10日
ギャラリー展「生き物豊かな堀川に・清流に!」
場所/堀川ギャラリー 団体/●鯉城・堀川と生活を考える会
2017年(春と秋に1回開催)
ナヤマルシェ 場所/納屋橋周辺
団体/●広小路西通一丁目商店街振興組合
- 熱田地区**
2017年6月3日・4日
堀川まつり 場所/宮の渡し公園
団体/●NPO法人堀川まちネット
2017年10月29日・11月5日
東海道七里の渡し船旅
場所/熱田「宮の渡し」~島名「七里の渡し」
団体/●NPO法人堀川まちネット
2017年11月
宮の浜市(あつたか熱田魅力発見市)
場所/宮の渡し公園 団体/●NPO法人堀川まちネット
- 堀川口地区**
2017年7月17日
第71回海の日名古屋みなと祭
場所/名古屋港 団体/●名古屋港管理組合
- 21 中部大学 松尾直規教授(堀川まちづくりの会会長)
22 名古屋工業大学 秀島栄三教授
23 名古屋市立大学 瀬口哲夫名誉教授
24 愛知淑徳大学(コミュニティ・コラボレーションセンター)

イベントピックアップ!
2017年11月14日~26日
堀川~名古屋をつくった堀川と鉄道の会
場所/名古屋都市センター 団体/堀川まちづくりの会
名古屋の発展を支えてきた堀川と鉄道の(深い関係)を貴重な資料で紹介。併設展示「堀川を活かしたまちづくりの取組」名古屋の人も知らない堀川のふか〜い姿?を展示します。お楽しみに。

イベントピックアップ!
2017年9月16日
環境デーなごや ブース出展
場所/久屋大通公園 団体/●名古屋堀川ライオンズクラブ、●鯉城・堀川と生活を考える会
環境について皆で考える環境デーなごやに出展します。どこともが楽しめるイベントが盛りだくさん。ご家族でぜひお越しください。

- 堀川まちづくりの会 パネル展・企画展**
- 2017年4月22日(東山動物園)
 - 2017年5月30日~6月12日(中区役所)
 - 2017年7月18日~31日(西区役所)
 - 2017年8月30日(熱田イオン)
 - 2017年9月29日~10月27日(名古屋工業大学)
 - 2017年11月14日~26日(名古屋都市センター)
 - 2018年1月5日~31日(鶴舞中央図書館)
 - 2018年2月1日~28日(市役所本庁舎)



編集後記
Townでご紹介した熱田地区ですが、これまでは当たり前に使っていたのですが、改めて熱田「熱い田」とは奇妙な地名だと思い、そのいわれを探ってみたのですが、これといった確証が得られませんでした。ご存知の方があれば、ぜひ教えてください。さて、秋も色々なイベントが堀川沿いの各地区で開かれます。ワカリホ片手に周辺の街も楽しんでみてください。イベントの感想や楽しかった出来事、あるいはワカリホへの要望など、編集部までお便りください。お待ちしております。

堀川まちづくりの会事務局

いつも心に川がある
堀川まちづくりの会 機関誌

ワカリホ

vol.6

Wakariko 2017 August



レトロな雰囲気なのに
モダンなお店もあって
大人が楽しめる素敵なまち、
みつけた!

公式サイト
horimachi.jp



活動日記ブログ
horimachi.blog.fc2.com



フェイスブック
www.facebook.com/horimachi



堀川の今、そして未来、歴史など、堀川のイロイロや、アレコレなど、「ともかく堀川を知っておきたい」という方は、一度アクセスしてみてください。



堀川の歴史をたどれば名古屋の歴史もよくわかるニャン



黒川治愿

「黒川」の名前は、愛知県の技師であった黒川さんから

黒川治愿さま、名古屋城の上流部にあたる堀川が「黒川」と呼ばれるようになったのは、明治8年(1875)に29歳で愛知県職員となったあなたが中心となって、この「黒川の開削」を成し遂げたからなのですね。



黒川治愿



元枳樋門

庄内川の水を堀川に流す「庄内川分水工事」として

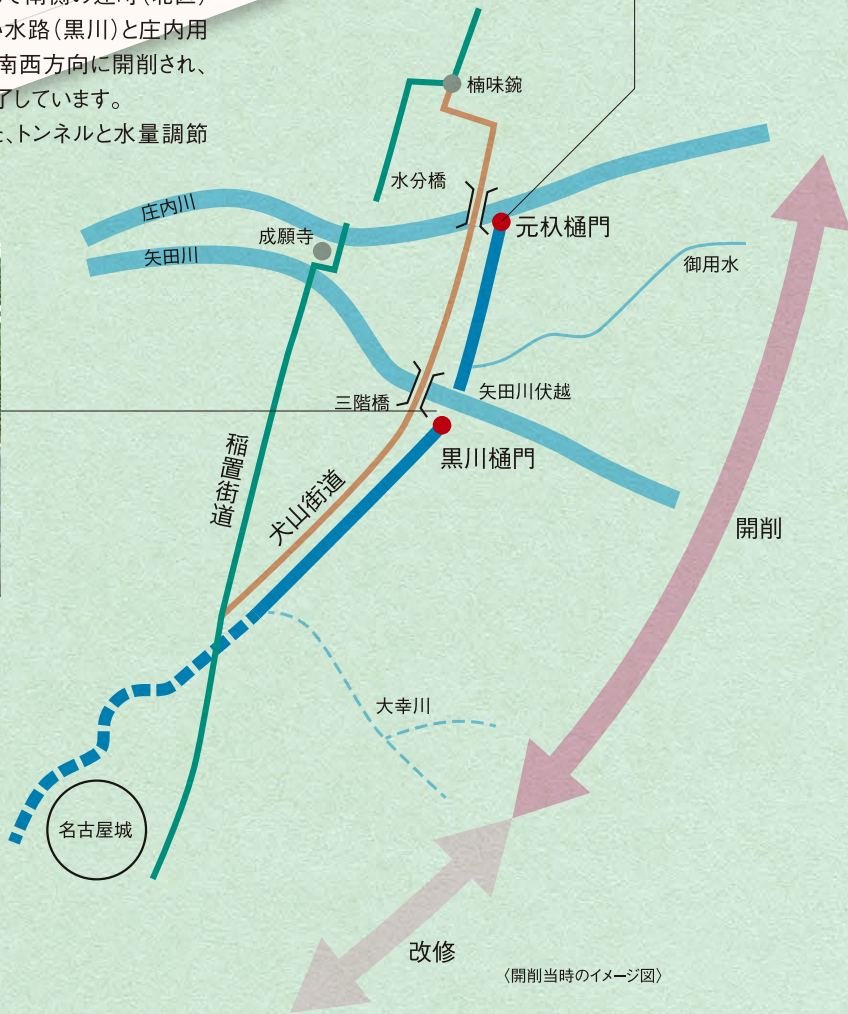
犬山との舟運と農業用水確保を目的に明治9年(1876)11月、庄内川の水を堀川に流す「庄内川分水工事」として「黒川の開削」が始まりました。現在の水分橋(守山区)のたもとに元枳樋門*を設けて、南に水路を掘り、矢田川にかかる現在の三階橋の北側で東から流れてくる「御用水」と合流させました。そこからさらに南に向かう水路は、矢田川の川底をくぐって南側の辻町(北区)に出るようにしました。ここで水路は、堀川と結ぶ新しい水路(黒川)と庄内用水などに分流させました。黒川は名古屋城に向かって南西方向に開削され、明治10年(1877)10月にはこれらの工事がすべて完了しています。
*元枳樋門…河川から水を取るために堤防に設けた、トンネルと水量調節ゲートを備えた施設。



黒川樋門 / 昔、黒川に流す水量を調節するのに使われていたゲート。三階橋東南(北区辻町)にある。



水分橋南の県道102号と水路



なんで堀川の上流のことを黒川っていうのかやっと分かりました！
次回は、黒川の開削を含めた一大事業についてもっと詳しくお手紙しますね。

水路に沿った新しい道路が完成、通行も便利に

開削工事で掘削された土砂を利用して、庄内川から黒川に通じる水路に沿った道路が造られ、水分橋と三階橋も架けられました。江戸時代から犬山と名古屋を結ぶ「稲置街道」(木曾街道・上街道)がありましたが、現在の北区楠味鏡から矢田川沿いの北区成願寺町にかけては低湿地帯を通る不便な道であったことから、楠味鏡からはこの水路に沿った新しい道路が利用されるようになり、人や馬車、車の通行が増え、いきました。この新しい道路は「犬山街道」と呼ばれ、多くの人々に利用されるようになりました。

愛知県の治水・利水に大きな足跡を残す

黒川治愿が活躍したのは、明治18年3月までの11年間でしたが、この間、黒川の開削の他にも、熱田港の整備、新木津用水の整備、西三河西南部を灌漑する明治用水の開削、入鹿池の改修などなど、土木技師としての優れた才能を多方面で発揮しています。そして多くの人々が彼の功績をたたえ、名古屋市内にある平和公園の政秀寺墓園には顕彰碑が、春日井市では白山神社や八田川の御幸橋に功績をたたえる碑が建てられています。

黒川治愿さま、あなたが開削した黒川は、現在は春の花見や、子供たちの自然観察の場としても親しまれています。黒川の開削によって堀川が生まれ変わったように、私たちも堀川がもっともって市民の皆さんに愛される川にしていきたいと考えています。だから黒川さまも、天国からしっかり応援してくださいね。



平和公園の顕彰碑



八田川御幸橋の黒川治愿君遺沢碑

Town

堀川の街ガイド⑥

熱田地区

多様な歴史に彩られた「熱田のまち」、
今もその姿をとどめる“時代の息吹”に触れてみる。

堀川の街ガイドは、堀川沿いに展開するそれぞれの街の魅力や、楽しみ方をご紹介する便利な手引書です。
「堀川の川べりをちょっと歩いてみようかな」と思ったら、ぜひ持って行ってください。

知ったかぶり 宮の渡しと熱田神宮



宮の渡し



熱田神宮(本宮拝殿)



あつた朔日市

「熱田」と聞いて多くの方が思い浮かべるのが、江戸時代の東海道五十三次41番目の宿場町として栄えた宮宿(熱田宿)の象徴「宮の渡し」ではないでしょうか。ここから三重県の桑名宿と結ばれる海上航路は「七里の渡し」と呼ばれ、東海道を行き交う沢山の人々に利用されてきました。また、宮の渡しには現在も船着き場があり、桑名と結ぶ船の運航もイベントなどで開催されています。

熱田神宮の創建は古く、弥生時代の西暦113年と伝えられています。三種の神器の一つである草薙剣が祀られていることは余りにも有名ですが、この他には八咫鏡を祀る伊勢神宮しかないことから、別格の神社として敬愛を集めています。熱田神宮では様々な神事や催し物が開かれています。地元の企業やNPO、大学、行政などが協力する「あつた宮宿会」が開催する「あつた朔日市」も注目を浴びるようになってきています。毎月一日の日に熱田神宮に詣でる「朔日参り」をより多くの人に知ってもらいたいと、熱田に縁のある企業等が出店する「市」を毎月1日に開いています。この市で出される「あつた朔日餅」も名物になっています。

福島正則の遺徳を称える「太夫堀」

古墳の街 熱田

熱田神宮が創建された弥生時代の次は古墳時代ですが、熱田の街には現在も6世紀前半に造られた2つの前方後円墳が残っていることをご存知でしょうか。熱田区旗屋町にある「断夫山古墳」がそのひとつで、当時としては全国でも屈指の大規模古墳として知られています。もうひとつが熱田区白鳥にある「白鳥古墳」で、断夫山古墳と同様、この当時に尾張を治めていた首長墓だと考えられています。



白鳥古墳



断夫山古墳

熱田の白鳥公園内には、「太夫堀」の名を残す堀が設けられています。福島正則によって開削された堀川は、名古屋城築城の資材を運ぶ中心的ルートとして利用されましたが、この時、材料置き場や船置き場として池が掘られ、この池を福島正則の官名である左衛門太夫にちなんで「太夫堀」と呼んだと伝えられています。この太夫堀周辺が、白鳥貯木場の始まりとなりました。

白鳥貯木場には、尾張藩の「白鳥御材木場」や「御船蔵」が設けられました。また、白鳥貯木場では余った木材が商人に払い下げられたことから、堀川周辺には沢山の木材事業者が軒を連ね、神具・仏壇・建具などの高度な木材加工技術も発展していきました。これらの技術が基礎となって後々の近代的な地産産業へと受け継がれていったことから、「名古屋木材産業発祥の地」とも言われています。



太夫堀



白鳥公園内にある白鳥御材木場 御船蔵の看板